

令和 7 年度

財政援助団体等監査報告書

公益財団法人武藏野文化生涯学習事業団
武藏野市土地開発公社

武藏野市監査委員

(写)

7 武監 第 298 号
令和 8 年 2 月 10 日

武 蔵 野 市 長 小 美 濃 安 弘 殿
武 蔵 野 市 議 会 議 長 木 嶠 剛 殿
武 蔵 野 市 教 育 委 員 會 教 育 長 吉 原 健 殿

武 蔵 野 市 監 査 委 員 小 島 麻 里
武 蔵 野 市 監 査 委 員 大 野 あつ子

令和 7 年度財政援助団体等監査の結果報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定により、下記について監査を実施したので、同条第9項の規定に基づき、その結果に関する報告を提出します。

指摘事項等については、措置を講じたうえ、再発防止のための職員の研修や定期的な打合せでの事務統一等を行うようお願いします。

この監査の結果に基づき、又はこの監査の結果を参考として措置を講じたものについては、同条第14項の規定により、通知願います。

記

公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団
武蔵野市土地開発公社

目 次

第 1	監査の種類	1
第 2	監査の対象	1
第 3	監査の範囲	1
第 4	監査の期間	1
第 5	監査の主眼と方法	1
第 6	監査の結果	2
	公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団	3
	武蔵野市土地開発公社	28

第1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく監査

第2 監査の対象

対象団体	所管課
公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団	市民部市民活動推進課 子ども家庭部児童青少年課 教育部生涯学習スポーツ課 教育部図書館
武蔵野市土地開発公社	都市整備部用地課

第3 監査の範囲

令和6年度における財政的援助、出資及び指定管理に係る出納その他の事務の執行

第4 監査の期間

令和7年9月5日から令和8年1月27日まで

説明聴取日

公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団
武蔵野市土地開発公社

令和7年11月27日
令和7年11月27日

第5 監査の主眼と方法

財政的援助、出資及び指定管理に係る出納その他の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているかを主眼として、所管課、財政援助団体等の関係帳簿と証拠書類の照合、関係者からの説明聴取等、武蔵野市監査基準（以下「監査基準」という。）に従い、監査を実施した。

1 財政的援助に係ること

(1) 所管課

- ア 要綱等により、補助金等の交付目的及び補助金等対象事業の内容が明確にされているか。
- イ 補助金等の額の算定、交付手続及び交付時期等は適切か。
- ウ 補助金等対象事業に関する団体への指導監督は、適切に行われているか。

(2) 財政援助団体等

- ア 経理規程等諸規程は、整備されているか。
- イ 補助金等対象事業は、目的に沿って適正かつ効率的に執行されているか。
- ウ 補助金等に係る会計経理は、適切に行われているか。

2 出資に係ること

(1) 所管課

- ア 団体への出資目的に沿った事業運営が行われていることを確認しているか。
- イ 団体への指導監督は、適切に行われているか。

(2) 財政援助団体等

- ア 定款（寄附行為）及び経理規程等諸規程は、整備されているか。
- イ 事業は、設立（出資）目的に沿って適正かつ効率的に運営されているか。
- ウ 会計経理、出資金・出えん金の管理運用及び財産の管理は、適切に行われているか。

3 指定管理に係ること（公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団）

(1) 所管課

- ア 指定管理者の指定手続きは適正・公正に行われているか。
- イ 協定書等には必要事項が適正に記載されているか。
- ウ 債務負担行為の設定は行われているか。
- エ 管理に関する経費の算定、支出の方法、時期、手続等は適正に行われているか。
- オ 事業報告書等の点検は適切に行われているか。
- カ 指定管理者に対する指導監督は、適切に行われているか。

(2) 財政援助団体等

- ア 施設は関係法令の定めるところにより適切に管理されているか。
- イ 協定等に基づく義務の履行は、適切に行われているか。
- ウ 事業報告書等は適正に作成され、期限までに提出されているか。
- エ 公の施設の管理に係る収支会計経理は、適正に行われているか。
- オ 利用者への安全確保や利用者ニーズの把握に向けた取組がされているか。

第6 監査の結果

「第5 監査の主眼と方法」に掲げたとおり審査した限りにおいて、所管課における財政援助団体等への補助金等の交付及び指定管理に関する事務並びに財政援助団体等における補助事業の実施、出納、指定管理者としての業務に関する出納その他の事務については、おおむね適正かつ効率的に執行されていることが認められた。

改善又は検討を要する事項については、それぞれのところで述べるので、適切な対応を検討され、適正な事務の執行に努められたい。

なお、文中「指摘事項」とは、監査基準第16条第4項にいう「是正」を指し、不当又は不正な事務処理があった場合に、その事実を指摘して是正を求めるものであり、「監査意見」とは、監査基準同条同項にいう「改善」を指し、不当又は不正な事務処理には該当しないが改善の可能性があると認められる事実があった場合に、市の組織及び運営の合理化に資するための意見を表明するものである。

公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団

第1 概要

1 目的

公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団（以下「事業団」という。）は、市民に芸術文化、スポーツ、生涯学習等の活動に親しむ多様な機会を提供するとともに、市民みずから行う学習や活動、交流等を支援することにより、活力ある地域社会の実現と一人ひとりの生涯を通じた豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。

（事業団定款第3条による）

2 事業

- (1) 芸術文化振興に関する事業
- (2) スポーツ振興に関する事業
- (3) 生涯学習振興に関する事業
- (4) この法人の目的の範囲内で行う武蔵野市からの受託事業
- (5) この法人の目的の範囲内で行う武蔵野市の施設の管理運営に関する事業
- (6) 旅行業法に基づく旅行業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- (8) (1)～(7)に附帯する事業
- (9) 武蔵野市立自然の村の管理運営に関する事業

（事業団定款第4条による）

3 設立

平成元年9月29日 財団法人武蔵野スポーツ振興事業団 設立

平成22年4月1日 財団法人武蔵野生涯学習振興事業団に改称

平成23年4月1日 公益財団法人に移行

昭和59年11月1日 財団法人武蔵野文化事業団 設立

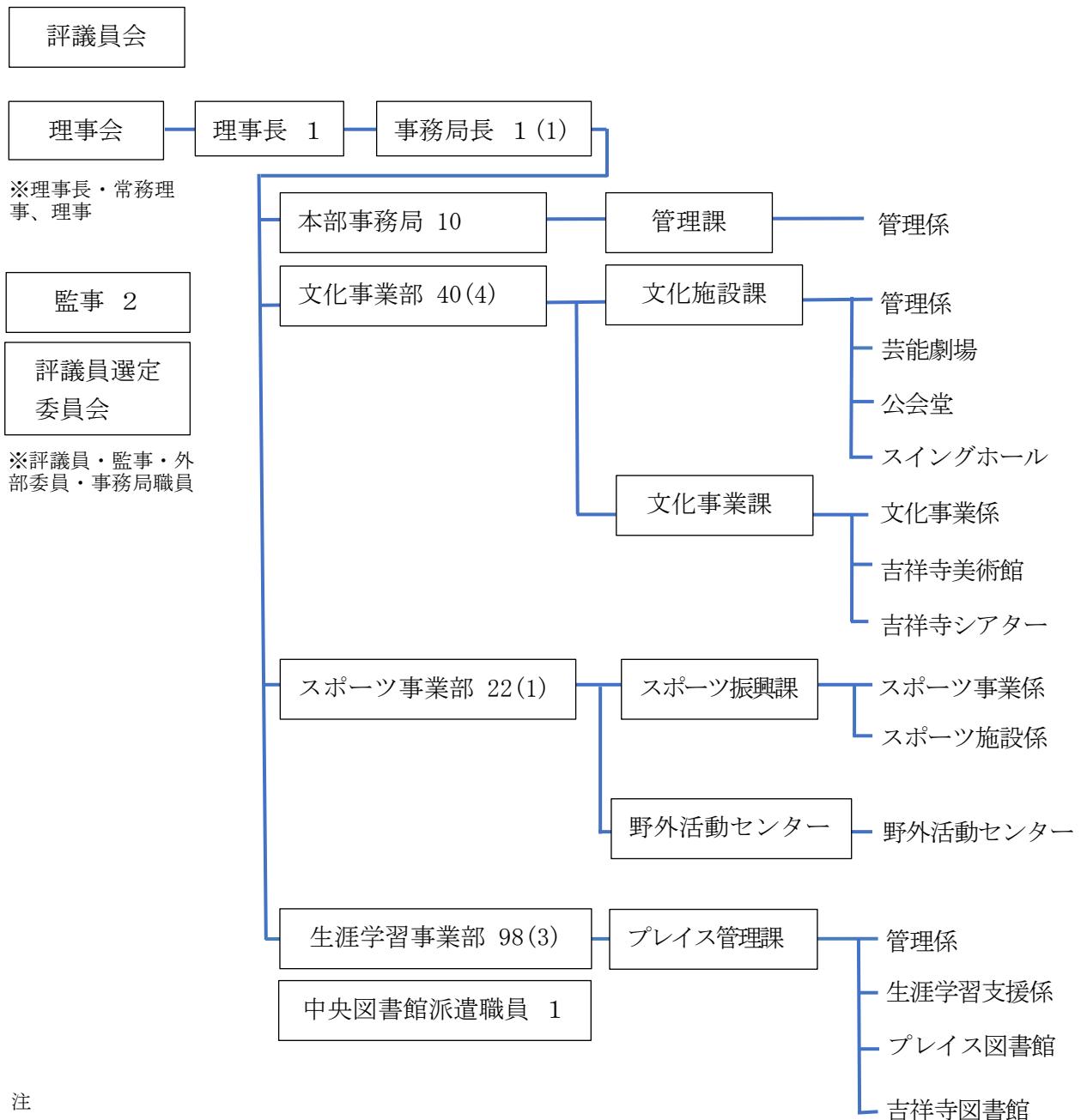
平成23年4月1日 公益財団法人に移行

令和4年4月1日 公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団と公益財団法人武蔵野文化事業団が合併し、公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団に名称変更

4 組織

事業団の組織は、次頁の組織図のとおりである（令和7年3月31日現在）。

(単位：人)



注

1 配置人数にはパート職員を含む

2 () 内は市派遣職員の人数

第2 事業の状況

1 経営状況

令和6年度の財務の状況は、別表1から別表6までのとおりである。

(1) 収支決算状況

経常収益は23億1,859万9千円、経常費用は23億9,235万円で、差引き7,375万2千円のマイナスである。

収益のうち、業務受託収益及びその他受託収益は21億6,809万2千円で、全て市から受託している。これらが経常収益に占める割合は93.5%である。

その他の主な収益は、鑑賞料収益9,071万3千円、自主事業収益2,305万5千円で、経常収益に占める割合はそれぞれ3.9%、1.0%である。

主な費用は、事業費の委託費10億3,370万9千円、事業費の給料手当6億7,655万8千円、事業費の法定福利費1億1,145万5千円で、経常費用に占める割合は、それぞれ43.2%、28.3%、4.7%である。

(2) 財政状況

ア 資産

当年度末における資産の合計は、15億3,031万5千円で、内訳は、流動資産が2億877万9千円、固定資産が13億2,153万6千円である。

流動資産は、当年度で5,695万7千円、前年度比21.4%減少している。これは現金預金が減少したことが主な要因である。

固定資産は、当年度で5,752万9千円、前年度比4.2%減少している。これは受付システム等整備事業積立資産の減少及びソフトウェアの減価償却が主な要因である。

イ 負債

当年度末における負債の合計は、2億9,006万2千円で、内訳は、流動負債が1億5,296万3千円、固定負債が1億3,709万9千円である。

流動負債は、当年度で5,300万9千円、前年度比25.7%減少している。これは、未払金が減少したことが主な要因である。

固定負債は、当年度で1,227万4千円、前年度比9.8%増加している。これは、リース債務が増加したことが主な要因である。

ウ 正味財産

指定正味財産は、109万5千円であり、前年度と同額である。

一般正味財産は、12億3,915万8千円であり、当年度で7,375万2千円、前年度比5.6%減少している。

2 実施事業

令和6年度の主要事業の概要及び実績は、別紙のとおりである。

事業の状況について、関係書類等を審査した結果、適正に処理されているものと認められた。

第3 補助金

令和6年度は市からの補助金の交付はない。

第4 管理運営

1 定款及び諸規程の整備

事業団では定款のほか、事務規程、就業規程、特定個人情報取扱規程、コンプライアンス規程等を設け、事務処理等を行っている。

2 会計経理

会計処理にあたっては、定款、会計処理規程、契約事務規程のほか、公益法人会計基準に基づき行われている。

3 出えん金及び基本財産の管理

(1) 出えん金及び基本財産

令和6年度末の基本財産は5億円（市出えん金及び寄附）で、令和4年4月1日に合併した際に定めたものである。

(2) 基本財産の保管及び運用益

基本財産は、定期預金及び普通預金での保管と投資有価証券での運用をしており、令和6年度は3,084,246円の利息及び配当金収入があった。

基本財産の内訳は次のとおりである。

科 目	種 類	金 額	利息収入及び 配当金
預金	定期預金	95,000,000円	73,255円
	普通預金	12,000円	0円
有価証券	利付国債第120回	100,000,000円	1,596,838円
	利付国債第372回	99,989,000円	800,000円
	北海道債令和2年度第4回	100,000,000円	165,000円
	東京電力パワーグリット債 第81回 ※1	99,999,000円	△15,550円
	東京都公募公債第738回 ※2	—	364,703円
株式	株式会社エフエムむさしの	5,000,000円	100,000円
計		500,000,000円	3,084,246円

※1 東京電力パワーグリット債第81回は令和6年度中に購入を行っており、表中の利息収入額は受取利息256,586円から購入差損272,136円を除いた額である。

※2 東京都公募公債第738回は満期により令和6年度中に償還済である。

4 個人情報の保護及び管理体制

事業団では、個人データ取扱規程及び特定個人情報に関する規程を定め、本部で情報

セキュリティ研修を開催し、各事業部の職員に年1回の参加を定めている。

管理運営について、関係書類等を審査した結果、下記の事項を除き、おおむね適正に実施されているものと認められた。

記

[事業団 指摘事項]

- 1 役員等及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程において、根拠条文の記載が誤っているものがあった。
- 2 超過勤務手当等において、支給誤りが見受けられた。
- 3 公印押捺簿において、公印の種類の記載が漏れているものが見受けられた。また、係の記載が漏れているものがあった。
- 4 消耗什器備品の登録に誤りがあった。

職員給与規程等に基づき、適正に処理されたい。

[生涯学習スポーツ課 指摘事項]

- 1 体育施設使用料の還付のため資金前渡している使用料及び手数料について、立替払いとなっているものが見受けられた。
- 2 市の備品について、備品シールの貼付がなされていないもの、所管換及び廃棄処理が漏れているものが見受けられた。

物品管理規則等に基づき、適正に処理されたい。

[市民活動推進課 監査意見]

1 行政財産の目的外使用等について

事業団による行政財産の目的外使用に関し、本部機能及び統括業務の執務スペース部分に係る使用料及び電気料金の徴収について、指定管理者制度の趣旨に基づき改めて検討されたい。

第5 指定管理者

1 指定管理の概要

地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき、平成17年から指定管理者として施設の管理運営を行っている。監査の範囲における指定管理期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までである。

令和6年度指定管理施設の概要及び管理経費等の支払状況は、次頁のとおりである。

施設名（所在地）	設置目的	設置条例	支払金額
武蔵野公会堂 (吉祥寺南町1丁目6番22号)	市民および地域社会の福祉の増進と文化の向上に寄与するため。	武蔵野公会堂条例	
武蔵野市民文化会館 (中町3丁目9番11号)	市民文化創造の拠点とするため。	武蔵野市民文化会館条例	
武蔵野芸能劇場 (中町1丁目15番10号)	郷土の古典芸能の保存、育成及び芸術文化の振興を図るため。	武蔵野芸能劇場条例	
武蔵野スイングホール (境2丁目14番1号 スイングビル)	市民の創造性あふれる文化活動の場を提供するとともに、芸術文化の振興を図るため。	武蔵野スイングホール条例	
吉祥寺美術館 (吉祥寺本町1丁目8番16号FFビル7階)	市民が美術その他の芸術文化を享受することに寄与し、その創造及び発展に資するため。	吉祥寺美術館条例	737,927,448円
松露庵 (桜堤1丁目4番22号)	市民が茶会等の日本の伝統的文化に親しむ場として供するため。	松露庵条例	
吉祥寺シアター (吉祥寺本町1丁目33番22号)	芸術文化の振興を図るため、演劇その他舞台芸術の創造、普及及び発信の拠点とするため。	吉祥寺シアタ一条例	
かたらいの道市民スペース (中町1丁目11番16号 武蔵野タワーズスカイクロスター1階)	市民の活動、交流等を促進することにより、市民文化の振興を図るため。	かたらいの道市民スペース条例	
自然の村 (長野県南佐久郡川上村大字川端下547番地の1)	豊かな自然環境の中で自然に親しみ、共同生活を通じて青少年の健全育成をはかるとともに、広く一般市民の野外活動の利用に供するため。	自然の村条例	36,542,412円
体育施設（武蔵野陸上競技場、武蔵野軟式野球場、武蔵野庭球場、武蔵野プール、武蔵野総合体育館、武蔵野温水プール、緑町スポーツ広場） (吉祥寺北町5丁目11番20号、緑町3丁目1番34号ほか)	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の振興を図り、豊かで潤いのある市民生活の実現に資するため。	体育施設条例	672,564,630円

施設名（所在地）	設置目的	設置条例	支払金額
ひと・まち・情報 創造館 武藏野プレイス (境南町2丁目3番18号)	市民の多様な活動及び学習の場を創出することにより、市民文化の振興を図るため。	武藏野プレイス条例	562,693,662円
吉祥寺図書館 (吉祥寺本町1丁目21番13号)	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供しその教養、調査研究、レクリエーション等に資するため。	図書館条例	143,479,111円

2 施設の管理

事業団は、基本協定第6条に基づき、当該事業年度における協定書（以下「年度協定」という。）を締結し、年度協定第2条に基づく施設管理に関する事業計画（以下「施設管理事業計画」という。）に基づき、施設管理を行っている。施設管理事業計画には、業務内容として清掃管理、設備管理、警備保安業務等を行うよう定められている。

各施設では火災、震災、怪我、紛失等に対応したマニュアルを整備している。

3 備品等の管理

事業団は、基本協定及び年度協定に基づき、固定資産、備品等の購入、修繕及び維持管理を行っている。市所有の備品については市の備品台帳に登録し、事業団所有の使用期間が1年以上で、かつ、取得価額が1件20万円以上の固定資産は固定資産台帳へ、耐用年数1年以上で、かつ、取得価額が3万円以上20万円未満である消耗什器備品は消耗什器備品台帳へ記録し、管理している。

4 公の施設のモニタリング評価

（1）概要

市では、指定管理者が条例や基本協定等に基づき、公の施設の管理運営及びサービス提供を適切かつ確実に行っているかを確認し、評価するためモニタリング評価を実施している。主管課及び指定管理者による一次評価並びにモニタリングの客觀性及び透明性を確保するための外部委員を含めたモニタリング評価委員会による二次評価を行っている。評価結果については、「武藏野市公の施設のモニタリング評価結果報告書」として市ホームページで公表され、点検・評価に使用した資料も掲載している。

（2）施設ごとの総合評価の判断基準

総合評価の判断基準は次のとおりである。

評価レベル	評価基準
S	期待以上の非常に優れた成果をあげている。
A	期待以上の優れた成果をあげている。
B	期待どおりの適正な運営が行われている。
C	期待する水準に達しておらず、改善が必要である。
D	期待する水準から遠く、相当な改善が必要である。

(3) 総合評価及び総括（総合評価の理由）

令和6年度を評価対象とした令和7年度のモニタリング評価について、総合評価及び総括（総合評価の理由）は次のとおりである。

ア 武蔵野公会堂

総合評価はB（令和5年度B）であった。総合満足度は、バリアフリー対応への評価や建物・設備に対する評価が影響し、令和5年度よりも微減したものの、清潔さを評価する声も目立ち大規模改修を前提としながら施設を安全・適切に維持管理している。貸出停止期間がある中でも柔軟に対応し、第2会議室を除くすべての施設の利用率が上がっている点で評価できる。

イ 武蔵野市民文化会館

総合評価はA（令和5年度A）であった。総合満足度の指数は令和6年度85.1%（令和5年度87.2%）となっており、微減しているが、全体として不満の評価が少なく、適正な運営が行われていることと評価できる。積極的なアウトリーチなど他施設とも連携して地域の文化活動に貢献した。

ウ 武蔵野芸能劇場

総合評価はB（令和5年度B）であった。総合満足度は、前年より18.1ポイント減少したものの、リピーターも多く市外利用者が増え、遠方からも魅力的な文化活動の拠点として選ばれている。利用者が情報を得やすいよう情報提供方法を工夫し、施設利用率の向上に努めた。

エ 武蔵野スイングホール

総合評価はB（令和5年度B）であった。「職員の対応」「建物・設備・備品等の管理」についてはすべての項目において80%を超える満足度を得ており、総合満足度は引き続き高い水準を維持している。複合施設で管理が難しい中、適切な情報提供を行い利用率向上に努めている。

オ 吉祥寺美術館

総合評価はA（令和5年度A）であった。地域との連携を意識した事業展開を図り、芸術文化を通じた豊かな市民生活の形成に寄与している。限られた人員体制で、配置や業務分担を工夫することにより、効率的かつ堅実な管理運営がなされている。

カ 松露庵

総合評価はB（令和5年度B）であった。施設の老朽化など困難な状況である中、総合満足度は88.1%と高い評価を獲得しており、堅実な管理運営がなされた。茶道の他、茶道以外の撮影会での利用や提携事業「松露庵紀行」の開催により、利用者数が前年よりも増えている。

キ 吉祥寺シアター

総合評価はA（令和5年度A）であった。総合満足度の指数は、令和6年度88.8%（令和5年度86.8%）と、前年度より上昇しており、高い満足度を維持している。病院や小学校、公園等でのアウトリーチ公演、飲食店や雑貨店、ライブハウスといった地域の店舗とのコラボ企画等、市内の様々な施設と協力した事業を継続的に行うことで、地域との連携を強めるとともに、施設の認知度を高め利用者の増加につなげている。

ク かたらいの道市民スペース

総合評価はB（令和5年度B）であった。総合満足度の指数は令和6年度83.2%

(令和5年度61.4%)と前年度と比較して大きく増加している。前年度モニタリング評価委員会の指摘事項について、適切に対応している点は評価できる。

ヶ 自然の村

総合評価はB（令和5年度B）であった。アンケートでは、概ね満足から満足への割合が増え、より多くの利用者から満足を得ている。直行バスの運行における定員増やプログラムの工夫、野外活動センター一年間プログラムの発行によるPRの強化など、利用者増に努めている。

コ 体育施設（武蔵野陸上競技場、武蔵野軟式野球場、武蔵野庭球場、武蔵野プール、武蔵野総合体育館、武蔵野温水プール、緑町スポーツ広場）

プール以外の施設について、総合評価はB（令和5年度B）であった。事業計画に基づき、期待通りの適切な運営が行われた。施設利用者の要望や意見を取り入れ、柔軟に事業を展開し積極的に満足度の向上を図っている。

プール施設について、総合評価はB（令和5年度B）であった。「建物・設備・備品等の管理」においては施設の老朽化により低い評価となっている項目もあるが、「職員の対応」については高い評価を得ており、総合的に利用者から高い満足度を得ている。施設の老朽化は進んでいるが、業者による点検のほか、職員による自主点検を実施し、施設を快適かつ安全に利用できるよう努めており、利用者が安全に施設を利用できるよう適切に運営している。

サ ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス

総合評価はA（令和5年度S）であった。総合満足度の指数は90.8%と2年連続で90%以上を保っている。施設の利用率のうち特にスタジオが上昇しており、クラフトスタジオの利用促進を目的とした動画作成などの取組みの成果として評価できる。

シ 吉祥寺図書館

総合評価はS（令和5年度A）であった。総合満足度の指数は、令和6年度90.9%（令和5年度85.1%）となり5.8ポイント増加している。指定管理者として複数施設の管理運営を受託しているメリットを生かし、事務の効率化に取り組んでおり、昨年度の改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項への対応が適切に行われている。

5 指定管理者の公募について

市では、令和7年4月1日から令和12年3月31日を指定管理期間とする公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例に基づき、武蔵野芸能劇場、武蔵野スイングホール、かたらいの道市民スペースの3館の指定管理者を一括で公募した。申請（参加申込）事業者（4者）に対し、プロポーザルを実施し次期事業者の選定を行った結果、アクティオ株式会社に決定した。

指定管理者について、関係書類等を審査した結果、下記の事項を除き、おおむね適正に実施されているものと認められた。

記

[事業団 指摘事項]

- 1 郵券等の管理簿において、一部の切手及びはがきの記載が漏れていた。
- 2 郵券等の管理簿上使用したことになっている切手について、使用せず別途保管されていた。
- 3 郵券等の管理簿の記載が誤っているものが見受けられた。
- 4 小口現金を利用した消耗品の購入の際、個人のポイントカードへポイント付与を行っているものがあった。
- 5 公演証明書において、決裁日より前の日付で発行しているものがあった。
- 6 契約経過調書等において、印章使用者及び印章管守者の印が漏れているものが見受けられた。また、印章管守者の承認より前に公印を押印しているものがあった。
- 7 業務委託契約において、契約書の記載が誤っていた。
- 8 業務委託契約において、契約変更金額に誤りがあった。
- 9 業務委託契約において、支払い額に誤りがあった際の精算を、同事業者と別途締結している業務委託契約に係る支払いを相殺していた。

事務規程等に基づき、適正に処理されたい。

[事業団 監査意見]

1 団体合併後の事業等の更なる連携・協力について

団体合併後、自然の村における音楽会の開催や図書館と美術館との共同企画等、分野横断的な事業を試行しているが、更に、文化、スポーツ及び生涯学習の三分野のスペシャリストがそろう団体としての強みをいかんなく発揮した事業展開を期待する。

2 境南ふれあい広場公園に係る業務委託契約について

境南ふれあい広場公園に関しては市から維持管理委託を受け、同業務を民間事業者に再委託しているが、委託の内容を改めて精査し、関係各所で協議のうえ調整されたい。

別表1

貸 借 対 照 表

令和 7年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	198,237,866	251,772,221	△ 53,534,355
未収金	5,913,045	6,598,866	△ 685,821
前払金	1,375,530	2,022,284	△ 646,754
貯蔵品	3,249,475	4,773,076	△ 1,523,601
立替金	3,110	569,088	△ 565,978
流動資産合計	208,779,026	265,735,535	△ 56,956,509
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	404,988,000	404,932,000	56,000
定期預金	95,000,000	95,000,000	0
普通預金	12,000	68,000	△ 56,000
基本財産合計	500,000,000	500,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	118,293,440	117,193,847	1,099,593
公演積立資産	27,991,678	27,985,778	5,900
音楽コンクール等事業積立資産	28,093,489	29,080,434	△ 986,945
事業振興積立資産	9,500,000	9,500,000	0
受付システム等整備事業積立資産	172,135,324	201,883,369	△ 29,748,045
人事管理システム等整備事業積立資産	4,113,682	5,197,838	△ 1,084,156
次期受付システム等整備事業積立資産	314,296,000	314,296,000	0
特定資産合計	674,423,613	705,137,266	△ 30,713,653
(3) その他固定資産			
建物付属設備	9,963,506	11,191,431	△ 1,227,925
構築物	4,181,353	4,602,158	△ 420,805
什器備品	44,820,847	61,279,188	△ 16,458,341
有形リース資産	26,694,783	13,034,615	13,660,168
ソフトウェア	59,251,861	81,620,555	△ 22,368,694
差入保証金	2,200,000	2,200,000	0
その他固定資産合計	147,112,350	173,927,947	△ 26,815,597
固定資産合計	1,321,535,963	1,379,065,213	△ 57,529,250
資産合計	1,530,314,989	1,644,800,748	△ 114,485,759
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	114,037,941	152,443,825	△ 38,405,884
未払消費税等	13,452,400	6,583,000	6,869,400
前受金	5,582,000	20,105,550	△ 14,523,550
預り金	11,932,370	21,634,276	△ 9,701,906
一年内返済予定リース債務	7,958,049	5,204,634	2,753,415
流動負債合計	152,962,760	205,971,285	△ 53,008,525
2. 固定負債			
リース債務	18,806,023	7,631,242	11,174,781
退職給付引当金	118,293,440	117,193,847	1,099,593
固定負債合計	137,099,463	124,825,089	12,274,374
負債合計	290,062,223	330,796,374	△ 40,734,151
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,094,749	1,094,749	0
指定正味財産合計	1,094,749	1,094,749	0
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(94,749)	(94,749)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(499,000,000)	(499,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(556,035,424)	(587,848,670)	(△ 31,813,246)
正味財産合計	1,240,252,766	1,314,004,374	△ 73,751,608
負債及び正味財産合計	1,530,314,989	1,644,800,748	△ 114,485,759

別表2

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[3,084,246]	[2,735,246]	[349,000]
基本財産受取利息	2,984,246	2,685,246	299,000
基本財産受取配当金	100,000	50,000	50,000
特定資産運用益	[810,447]	[274,374]	[536,073]
特定資産受取利息	810,447	274,374	536,073
受取会費	[5,275,000]	[5,506,000]	[△231,000]
友の会受取会費	5,275,000	5,506,000	△231,000
事業収益	[2,300,509,712]	[2,183,265,075]	[117,244,637]
自主事業収益	23,055,466	23,939,710	△884,244
鑑賞料収益	90,713,495	50,346,315	40,367,180
物品等販売収益	5,070,505	13,599,002	△8,528,497
手数料収益	13,540,293	14,582,987	△1,042,694
広告料収益	38,000	333,000	△295,000
業務受託収益	2,151,789,341	2,069,093,999	82,695,342
その他受託収益	16,302,612	11,370,062	4,932,550
受取補助金等	[5,408,000]	[6,726,340]	[△1,318,340]
受取国庫等補助金・助成金	5,070,000	3,566,840	1,503,160
受取武蔵野市等補助金・助成金	338,000	349,500	△11,500
受取民間等補助金・助成金	0	2,810,000	△2,810,000
受取負担金	[3,299,563]	[3,723,310]	[△423,747]
受取負担金	3,299,563	3,723,310	△423,747
受取寄付金	[0]	[2,294,573]	[△2,294,573]
受取寄付金振替額	0	2,294,573	△2,294,573
雑収益	[211,872]	[340,658]	[△128,786]
受取利息	166,740	2,939	163,801
雑収益	45,132	337,719	△292,587
経常収益計	2,318,598,840	2,204,865,576	113,733,264
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	[2,294,263,351]	[2,206,127,424]	[88,135,927]
給料手当	2,095,200	2,095,200	0
臨時雇賃金	676,557,710	659,062,975	17,494,735
退職給付費用	37,438,105	36,140,183	1,297,922
退職共済掛金	22,343,070	4,984,083	17,358,987
法定福利費	10,379,906	10,106,213	273,693
福利厚生費	111,454,680	109,223,578	2,231,102
研修費	4,250,342	4,385,523	△135,181
会議費	1,566,451	1,828,379	△261,928
旅費交通費	233,794	411,669	△177,875
通信運搬費	4,129,595	6,931,274	△2,801,679
減価償却費	16,846,073	16,814,803	31,270
消耗什器備品費	54,384,196	49,763,356	4,620,840
消耗品費	5,033,610	2,707,248	2,326,362
修繕費	64,872,482	60,621,236	4,251,246
印刷製本費	42,753,002	49,906,867	△7,153,865
賃借料	14,637,251	15,294,390	△657,139
保険料	28,889,671	27,801,088	1,088,583
諸謝金	2,202,108	2,609,727	△407,619
租税公課	39,050,884	41,208,977	△2,158,093
支払負担金	63,113,286	55,545,281	7,568,005
委託費	1,429,145	3,123,930	△1,694,785
支払手数料	1,033,708,927	1,002,391,197	31,317,730
広告宣伝費	49,549,130	30,687,744	18,861,386
支払利息	6,817,289	12,137,714	△5,320,425
交際費	322,876	163,149	159,727
雑費	79,633	73,765	5,868
	124,935	107,875	17,060

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	[98,087,097]	[86,481,819]	[11,605,278]
役員報酬	6,075,847	6,260,800	△184,953
給料手当	34,534,175	31,502,797	3,031,378
臨時雇賃金	1,443,897	1,085,436	358,461
退職給付費用	4,690,665	352,159	4,338,506
退職共済掛金	576,844	527,177	49,667
法定福利費	4,418,448	4,218,034	200,414
福利厚生費	163,047	165,253	△2,206
研修費	639,956	518,392	121,564
会議費	1,522	2,887	△1,365
旅費交通費	84,615	107,534	△22,919
通信運搬費	393,130	379,453	13,677
減価償却費	3,618,742	4,268,554	△649,812
消耗品費	224,614	278,272	△53,658
印刷製本費	650,235	12,809	637,426
賃借料	319,192	352,444	△33,252
保険料	132,278	127,629	4,649
諸謝金	598,500	214,332	384,168
租税公課	19,942,314	17,614,169	2,328,145
支払負担金	27,000	27,000	0
委託費	18,125,248	17,078,204	1,047,044
支払手数料	1,358,949	1,268,698	90,251
広告宣伝費	39,600	99,000	△59,400
支払利息	3,372	2,144	1,228
交際費	24,907	17,900	7,007
雑費	0	742	△742
経常費用計	2,392,350,448	2,292,609,243	99,741,205
当期経常増減額	△73,751,608	△87,743,667	13,992,059
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△73,751,608	△87,743,667	13,992,059
一般正味財産期首残高	1,312,909,625	1,400,653,292	△87,743,667
一般正味財産期末残高	1,239,158,017	1,312,909,625	△73,751,608
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[0]	[110,000]	[△110,000]
受取寄付金	0	110,000	△110,000
一般正味財産への振替額	[0]	[△2,294,573]	[2,294,573]
一般正味財産への振替額	0	△2,294,573	2,294,573
当期指定正味財産増減額	0	△2,184,573	2,184,573
指定正味財産期首残高	1,094,749	3,279,322	△2,184,573
指定正味財産期末残高	1,094,749	1,094,749	0
III 正味財産期末残高	1,240,252,766	1,314,004,374	△73,751,608

別表3

正味財産増減計算書内訳表
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 芸術文化・スポーツ・ 生涯学習振興 に関する事業	収1 施設利用者に 対する付帯 サービス等事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	[3,084,246]	[0]	[0]	[0]	[3,084,246]
基本財産受取利息	2,984,246	0	0	0	2,984,246
基本財産受取配当金	100,000	0	0	0	100,000
特定資産運用益	[810,447]	[0]	[0]	[0]	[810,447]
特定資産受取利息	810,447	0	0	0	810,447
受取会費	[5,275,000]	[0]	[0]	[0]	[5,275,000]
友の会受取会費	5,275,000	0	0	0	5,275,000
事業収益	[2,017,827,483]	[187,545,467]	[95,136,762]	[0]	[2,300,509,712]
自主事業収益	20,835,766	2,219,700	0	0	23,055,466
鑑賞料収益	90,713,495	0	0	0	90,713,495
物品等販売収益	0	5,070,505	0	0	5,070,505
手数料収益	4,685,076	8,855,217	0	0	13,540,293
広告料収益	18,000	20,000	0	0	38,000
業務受託収益	1,885,272,534	171,380,045	95,136,762	0	2,151,789,341
その他受託収益	16,302,612	0	0	0	16,302,612
受取補助金等	[5,408,000]	[0]	[0]	[0]	[5,408,000]
受取国庫等補助金・助成金	5,070,000	0	0	0	5,070,000
受取武蔵野市等補助金・助成金	338,000	0	0	0	338,000
受取負担金	[3,299,563]	[0]	[0]	[0]	[3,299,563]
受取負担金	3,299,563	0	0	0	3,299,563
雑収益	[42,118]	[0]	[169,754]	[0]	[211,872]
受取利息	17,359	0	149,381	0	166,740
雑収益	24,759	0	20,373	0	45,132
経常収益計	2,035,746,857	187,545,467	95,306,516	0	2,318,598,840
(2) 経常費用					
事業費	[2,101,890,289]	[192,373,062]	[0]	[0]	[2,294,263,351]
役員報酬	1,396,800	698,400	0	0	2,095,200
給料手当	638,758,642	37,799,068	0	0	676,557,710
臨時雇賃金	37,126,930	311,175	0	0	37,438,105
退職給付費用	19,130,577	3,212,493	0	0	22,343,070
退職共済掛金	9,661,775	718,131	0	0	10,379,906
法定福利費	103,834,350	7,620,330	0	0	111,454,680
福利厚生費	3,950,092	300,250	0	0	4,250,342
研修費	1,353,515	212,936	0	0	1,566,451
会議費	233,103	691	0	0	233,794
旅費交通費	3,616,781	512,814	0	0	4,129,595
通信運搬費	15,853,143	992,930	0	0	16,846,073
減価償却費	49,880,445	4,503,751	0	0	54,384,196
消耗什器備品費	4,822,566	211,044	0	0	5,033,610
消耗品費	60,074,340	4,798,142	0	0	64,872,482
修繕費	38,422,575	4,330,427	0	0	42,753,002
印刷製本費	13,522,062	1,115,189	0	0	14,637,251
賃借料	23,604,049	5,285,622	0	0	28,889,671
保険料	1,965,849	236,259	0	0	2,202,108
諸謝金	38,136,684	914,200	0	0	39,050,884
租税公課	48,533,708	14,579,578	0	0	63,113,286
支払負担金	1,412,745	16,400	0	0	1,429,145
委託費	931,865,640	101,843,287	0	0	1,033,708,927
支払手数料	47,587,704	1,961,426	0	0	49,549,130
広告宣伝費	6,639,461	177,828	0	0	6,817,289
支払利息	316,625	6,251	0	0	322,876
交際費	65,193	14,440	0	0	79,633
雑費	124,935	0	0	0	124,935

正味財産増減計算書内訳表
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 等消去	合 計
	公1 芸術文化・スポーツ・ 生涯学習振興 に関する事業	収1 施設利用者に 対する付帯 サービス等事業			
管理費	[0]	[0]	[98,087,097]	[0]	[98,087,097]
役員報酬	0	0	6,075,847		6,075,847
給料手当	0	0	34,534,175		34,534,175
臨時雇賃金	0	0	1,443,897		1,443,897
退職給付費用	0	0	4,690,665		4,690,665
退職共済掛金	0	0	576,844		576,844
法定福利費	0	0	4,418,448		4,418,448
福利厚生費	0	0	163,047		163,047
研修費	0	0	639,956		639,956
会議費	0	0	1,522		1,522
旅費交通費	0	0	84,615		84,615
通信運搬費	0	0	393,130		393,130
減価償却費	0	0	3,618,742		3,618,742
消耗品費	0	0	224,614		224,614
印刷製本費	0	0	650,235		650,235
賃借料	0	0	319,192		319,192
保険料	0	0	132,278		132,278
諸謝金	0	0	598,500		598,500
租税公課	0	0	19,942,314		19,942,314
支払負担金	0	0	27,000		27,000
委託費	0	0	18,125,248		18,125,248
支払手数料	0	0	1,358,949		1,358,949
広告宣伝費	0	0	39,600		39,600
支払利息	0	0	3,372		3,372
交際費	0	0	24,907		24,907
経常費用計	2,101,890,289	192,373,062	98,087,097	0	2,392,350,448
当期経常増減額	△66,143,432	△4,827,595	△2,780,581	0	△73,751,608
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△66,143,432	△4,827,595	△2,780,581	0	△73,751,608
他会計振替額	0	0			0
当期一般正味財産増減額	△66,143,432	△4,827,595	△2,780,581	0	△73,751,608
一般正味財産期首残高	1,312,145,439	3,318,508	△2,554,322		1,312,909,625
一般正味財産期末残高	1,246,002,007	△1,509,087	△5,334,903	0	1,239,158,017
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,094,749	0	0		1,094,749
指定正味財産期末残高	1,094,749	0	0	0	1,094,749
III 正味財産期末残高	1,247,096,756	△1,509,087	△5,334,903	0	1,240,252,766

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・取得価額により評価している。

その他有価証券（市場価格のない有価証券）・・・取得価額により評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法により評価している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物付属設備、構築物、什器備品、ソフトウェア・・・定額法により行っている。

有形リース資産、無形リース資産（所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産）

・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により行っている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度の期末退職金積立額を差し引いた額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引・・・売買処理により行っている。※

※法人の事業内容に照らして重要性が乏しいリース取引で、リース契約1件

あたりのリース料総額が300万円以下のリース取引・・・賃貸借処理により行っている。

オペレーティング・リース取引・・・賃貸借処理により行っている。

(6) 消費税等の会計処理

税込方式により行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	404,932,000	99,999,000	99,943,000	404,988,000
定期預金	95,000,000	0	0	95,000,000
普通預金	68,000	99,943,000	99,999,000	12,000
小 計	500,000,000	199,942,000	199,942,000	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	117,193,847	13,598,819	12,499,226	118,293,440
公演積立資産	27,985,778	5,900	0	27,991,678
音楽コンクール等事業積立資産	29,080,434	0	986,945	28,093,489
事業振興積立資産	9,500,000	0	0	9,500,000
受付システム等整備事業積立資産	201,883,369	0	29,748,045	172,135,324
人事管理システム等整備事業積立資産	5,197,838	0	1,084,156	4,113,682
次期受付システム等整備事業積立資産	314,296,000	0	0	314,296,000
小 計	705,137,266	13,604,719	44,318,372	674,423,613
合 計	1,205,137,266	213,546,719	244,260,372	1,174,423,613

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に對応する額)
基本財産				
投資有価証券	404,988,000	(1,000,000)	(403,988,000)	-
定期預金	95,000,000	(0)	(95,000,000)	-
普通預金	12,000	(0)	(12,000)	-
小 計	500,000,000	(1,000,000)	499,000,000	-
特定資産				
退職給付引当資産	118,293,440	-	-	(118,293,440)
公演積立資産	27,991,678	(94,749)	(27,896,929)	-
音楽コンクール等事業積立資産	28,093,489	(0)	(28,093,489)	-
事業振興積立資産	9,500,000	(0)	(9,500,000)	-
受付システム等整備事業積立資産	172,135,324	(0)	(172,135,324)	-
人事管理システム等整備事業積立資産	4,113,682	(0)	(4,113,682)	-
次期受付システム等整備事業積立資産	314,296,000	(0)	(314,296,000)	-
小 計	674,423,613	(94,749)	(556,035,424)	(118,293,440)
合 計	1,174,423,613	(1,094,749)	(1,055,035,424)	(118,293,440)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額、除却額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額、除却額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	18,401,412	8,437,906	9,963,506
構築物	6,359,000	2,177,647	4,181,353
什器備品	132,082,108	87,261,261	44,820,847
有形リース資産	48,567,860	21,873,077	26,694,783
ソフトウェア	140,075,056	80,823,195	59,251,861
合 計	345,485,436	200,573,086	144,912,350

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類 及び 銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
利付国債 第120回	100,000,000	102,490,000	2,490,000
利付国債 第349回	99,260,000	97,960,000	△ 1,300,000
利付国債 第372回	99,989,000	95,740,000	△ 4,249,000
北海道債 R2年度 第4回	100,000,000	94,440,000	△ 5,560,000
福岡県債 R5年度 第4回	100,000,000	97,490,000	△ 2,510,000
東京電力債 第81回	99,999,000	97,920,000	△ 2,079,000
合 計	599,248,000	586,040,000	△ 13,208,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 退職金共済掛金 補助金	武藏野市 労働者互助会	0	42,000	42,000	0	-
助成金 芸術文化 振興基金助成金	(独) 日本芸術 文化振興会	0	2,000,000	2,000,000	0	-
地域の文化・ 芸術活動助成 事業助成金	(一財) 地域創造	0	2,200,000	2,200,000	0	-
健康診断受診料 助成金	武藏野市 労働者互助会	0	296,000	296,000	0	-
調整金 障害者 雇用調整金	(独) 高齢障害・求 職者雇用支援機構	0	870,000	870,000	0	-
合 計		0	5,408,000	5,408,000	0	

別表5

附 屬 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	そ の 他	
退職給付引当金	117, 193, 847	13, 598, 819	12, 499, 226	0	118, 293, 440

別表6

財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等		使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	3,017,734
	預金	普通預金 三菱UFJ銀行吉祥寺支店	運転資金として	152,945,293
		みずほ銀行吉祥寺支店	同上	1,588,993
		多摩信用金庫境支店	同上	2,255,163
		多摩信用金庫吉祥寺支店	同上	38,430,683
	未収金	参加者・鑑賞者・事業者に対する未収額	令和6年度 自主事業収益・チケット等売上・手数料収入	2,133,473
		助成金の交付元に対する未収額	令和6年度 芸術文化振興基金助成金	2,000,000
		その他	令和6年度 基本財産/特定資産運用益・解約保険料 他	1,779,572
	前払金	出演者・委託先・販売店等に対する前払額	令和7年度 委託費・N.A.S導入費・保守料・保険料 他	1,375,530
	貯蔵品	企画展図録等	付帯サービス等事業(収益事業)に使用している。	3,064,730
		事業印刷物用インク等	芸術文化振興事業(公益目的事業)に使用している。	184,745
	立替金	施設利用者に対する立替額	令和6年度 施設使用料・ワンデーレッスン料 還付	3,110
流動資産合計				208,779,026
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益事業の財源として使用	100,000,000 99,989,000 100,000,000 99,999,000 5,000,000
		利付国債 第120回		
		利付国債 第372回		
		北海道債 R2年度 第4回		
		東京電力債 第81回		
		株式(株)エフエムむさしの		
	定期預金	大東京信用組合吉祥寺支店	同上	95,000,000
	普通預金	三菱UFJ銀行吉祥寺支店	同上	12,000
	定期預金・大東京信用組合吉祥寺支店	役員及び職員への退職金支払いに備えている資金	118,293,440	
	定期預金・三菱UFJ銀行吉祥寺支店	将来的芸術文化公演等の開催費用に充てるために備えている資金	23,905,251	
特定資産	公演積立資産	定期預金・三菱UFJ銀行吉祥寺支店	うち、ルーマニア関連事業に充てる資金(指定正味財産)	3,991,678
		普通預金・三菱UFJ銀行吉祥寺支店	国際オルガンコンクール等に充てるための資金であり、公益目的事業に係る特定費用準備資金として管理している。	28,093,489
		定期預金・三菱UFJ銀行吉祥寺支店	周年事業等公益事業に充てるために備えている資金	9,500,000
		定期預金・三菱UFJ銀行吉祥寺支店	受付システム等の整備費用に充てるための資金であり、公益資産取得資金として管理している。	172,135,324
	音楽コンクール等事業積立資産	普通預金・三菱UFJ銀行吉祥寺支店	人事管理システム等の整備費用に充てるための資金であり、公益資産取得資金として管理している。	4,113,682
		定期預金・大東京信用組合	次期受付システム等の整備費用に充てるための資金であり、公益資産取得資金として管理している。	99,260,000
		受付システム等	次期受付システム等の整備費用に充てるための資金であり、公益資産取得資金として管理している。	100,000,000
	整備事業積立資産	普通預金・三菱UFJ銀行吉祥寺支店	115,009,425	
		定期預金・大東京信用組合	26,575	
		普通預金・三菱UFJ銀行吉祥寺支店		
その他固定資産	建物付属設備	武藏野ブレイス、武藏野総合体育馆	公益目的保有財産	9,210,044
		地下送風機交換工事(共用財産)	共用財産 公益 99.3%、収益 0.7%	467,946
		武藏野市立自然の村	収益事業の財産	285,516
	構築物	ストリートスポーツ広場、弓道場 他	公益目的保有財産	4,181,353
		利用者のための施設備品	公益目的保有財産	11,518,066
		情報通信基盤機器・会計システムサーバ	共用財産 公益 83.2%、収益 9.8%、管理 7.0%	32,792,837
		監視カメラモニター(共用財産)	共用財産 公益 99.6%、収益 0.4%	1
		除雪機、給湯器	収益事業の財産	509,942
		応接セット	法人会計(管理運営)の財産	1
	有形リース資産	トレーニング室機器、丁合機、券売機	公益目的保有財産	24,202,223
		印刷機・卓上紙折機・紙揃え機	共用財産 公益 90.0%、収益 5.0%、管理 5.0%	2,492,560
		ブルー予約システム	公益目的保有財産	63,250
	ソフトウェア	チケット販売システム、カスタマイズ	共用財産 公益 95.0%、収益 5.0%	5,270,925
		人事管理・勤怠管理・給与計算システム	共用財産 公益 91.1%、収益 5.3%、管理 3.6%	8,962,030
		ホームページ	共用財産 公益 85.0%、収益 10.0%、管理 5.0%	6,235,608
		施設予約システム、クレジットオンライン	共用財産 公益 80.0%、収益 10.0%、管理 10.0%	33,769,554
		会計システム(5年間使用権)	共用財産 公益 83.2%、収益 9.8%、管理 7.0%	3,970,560
		会計システムOPPG、クライアントライセンス 他	法人会計(管理運営)の財産	979,934
	差入保証金	旅行業保証金	公益目的保有財産	2,200,000
固定資産合計				1,321,535,963
資産合計				1,530,314,989
(流動負債)	未払金	武藏野市に対する未払額	令和6年度 施設管理受託料の返納分	53,131,098
		役員及び職員・年金事務所等への未払額	令和6年度 給料・社保(事業主負担分)・退職金・旅費	42,378,621
		委託先・購入先の事業者等に対する未払額	令和6年度 委託費・リース料・郵送料・雑誌購入代 他	18,528,222
	未払消費税等	武藏野税務署への未払額	令和6年度 消費税及び地方消費税の未納付分	13,452,400
		前受金	令和7年度 鑑賞料・スポーツ教室参加料の前受け分	5,582,000
	預り金	チケット購入者・利用者からの前受額	令和6年度 報酬・料金・給料に係る所得税・住民税・社会保険料 他	6,627,061
		預り額(税務署・年金事務所等へ納める額)	令和6年度 公演チケット・委託販売グッズ等の売上、施設使用料、郵送料、会費 他	5,305,309
		一年内返済予定	リース会社への未経過リース料	7,958,049
流动負債合計				152,962,760
(固定負債)	退職給付引当金	役員及び職員に対するもの	役員及び職員に対する退職金の支払いに備えたもの。	118,293,440
	リース債務	リース会社への未経過リース料	リース資産に対応する未経過リース料であり、翌1年内に支払期限が到来する額	18,806,023
固定負債合計				137,099,463
負債合計				290,062,223
正味財産				1,240,252,766

主要事業の概要及び実績

令和6（2024）年度の公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団は、中期計画（令和6（2024）年度～令和11（2029）年度）に示した基本方針に基づき、各種事業を実施しました。社会的にも各種エンターテイメントが活性化した中で、事業団でも、音楽シリーズのコンサート等のチケット完売数、スポーツ教室事業・野外活動事業等の参加者数、図書館利用者・生涯学習事業の参加者数等の多くが令和5年度を上回りました。また、伝統文化やオルガンの普及事業、初心者向けの教室・講座、市内小学校へのアウトリーチ事業や読書の動機付け指導等により、市民の文化・生涯学習への興味・関心が広がるような事業や、大学、市民活動団体、事業者などとの連携により、地域のにぎわいへ寄与する事業等も展開しました。

公募への応募の結果、芸能劇場他2施設の令和7年度からの指定管理者には選定されなかったことを受け、中期計画の一部改定、事業団職員の人材確保・育成方針の策定など、事業団の将来を見据えた検討を行い、令和7年度からの新たな指定管理期間を迎える準備をいたしました。

1 芸術文化振興に関する事業

芸術文化振興に関する事業では、音楽公演等事業、美術館事業、演劇等事業のそれぞれの分野において、市民文化会館を中心とした質の高い公演事業、魅力ある美術館の展示、シアターでの劇場公演等を数多く実施するとともに、子ども向け、親子向けの体験型事業も数多く実施しました。

○ 音楽公演等事業（推進事業、教育・普及事業、育成・支援事業）

推進事業として「ハンガリー・ブタペスト交響楽団」ほか、国内外の音楽家などによるクラシック、ジャズ、邦楽、民族音楽などの上質で多彩な公演を96本開催しました。教育・普及事業としては、幼少期より芸術文化に楽しみながら触れる機会を提供するため、「子ども茶道教室」などを開催したほか、市内小学校へのアウトリーチ事業など35本を開催しました。そのほか、第37回武蔵野シティバレエ定期公演など育成・支援事業を14本行いました。また、昨年度開催した「第9回武蔵野市国際オルガンコンクール」の入賞者等によるオルガン普及イベントを数多く行い、コンクール開催期間以外の機運醸成に取り組みました。

○ 美術館事業（常設展示、企画展示、特別展示、ワークショップ・イベント）

浜口陽三・萩原英雄両記念室での常設展のほか、大坪美穂（インスタレーション）、荒井真紀（絵本イラストと本市所蔵作品のコラボ展示）、金井一郎（翳り絵）、絵本作家ユニットtupera tuperaと市立小学校3校の子どもたちとのコラボ作品展（キチジョー人）と様々なジャンルの企画展を4本、関連イベント9本の他、彫刻ツアー③を開催しました。美術展の総入館者数は、延べ22,891人でした。

武蔵野アール・ブリュット2024では、新たに実行委員を募集し、吉祥寺美術館での企画展を実施しました。

また、キチジョー人プロジェクトやアール・ブリュットの関連ワークショップで

制作された作品を、市役所・総合体育館・プレイスなどに巡回展示を行い、多くの方に見ていただいています。さらに、かたらいの道市民スペースやきりん塾などに講師を派遣するとともに、ギャラリートークや学生等への作品解説など教育・普及に努めました。

○ 演劇等事業（シアター舞台芸術公演事業、シアター参加・交流型事業）

日本を代表する劇団等の公演を提供するだけでなく、友好都市である南砺市に拠点を置く劇団ＳＣＯＴ、可児市との提携公演を行うなど都市交流にも意欲的に取り組みました。さらにはアウトリーチ公演により地域交流も行っています。ダンス公演では若手を起用したショーケース公演のほか、実績あるカンパニーと協働した実験公演を行いました。ＳＮＳによる配信にも積極的に取り組み、動画素材等を積極的に活用した情報発信を行いました。また、小中高生や乳幼児、教育関係者など様々な対象に向けたワークショップ等を開催しました。

2 スポーツ振興に関する事業

スポーツ振興に関する事業では、第二期武蔵野市スポーツ推進計画、及び新たに事業団で策定した中期計画に基づいた施策・取組みを進めました。また、総合体育館、温水プール等の老朽化や夏季の気温上昇に対する対応など、各施設を安心・安全にご利用いただけるよう運営してまいりました。

○ スポーツ教室・スポーツイベント事業等

令和6年度は、スポーツ教室事業118教室、ワンデーレッスン17種目、スポーツイベント7事業を実施したほか、各施設の個人開放事業を実施しました。

スポーツ教室事業では新規事業として、大人向けの事業「水中健康運動」「はじめてのワークアウト」等を実施しました。小学生向け事業では、現役の日本代表を講師に招く「土曜学校ドッヂボール」や「ジュニアテーマパークダンス（出張）」を実施しました。また、平日のみ行っていた「障がい者のためのスポーツ広場」を土曜日に実施しました。

ワンデーレッスンでは、未だ縮小していた一部のレッスンの実施時間、定員数を緩和することで、多くの方にご参加いただくことができました。また、複数のコマで実施している「ピラティス」の1コマを新たに「ボディコンディショニング」として実施しました。

スポーツイベントでは、5月に武蔵野市出身で元サッカー女子日本代表の岩渕真奈氏をゲストに招いて、「Sports for All サッカー」を開催し、これまでのSports for All事業の中でも一番多くの方に来場いただき、サッカー、及びブラインドサッカーの魅力に触れていただきました。

スポーツボランティアH A N D Sは、スポーツイベントを中心に年間を通じた活動に加え、研修会・交流会を実施し、H A N D S同士のつながり、交流を深めました。

施設の個人開放事業について、コロナ禍の利用制限はほぼ解除し、従来の利用に戻りました。その結果、個人開放施設全体の利用者数は令和5年度に比べて約38,000人増の272,916名となりました。

- 野外活動事業（登山・ハイキング、キャンプ、アウトドアスポーツ、アウトドアカレッジ講習事業、自然観察・学習・体験事業）

令和6年度は、登山・ハイキング事業6事業、キャンプ事業7事業、アウトドアスポーツ事業5事業、アウトドアカレッジ事業10事業、自然観察・学習・体験事業20事業を実施しました。

登山・ハイキング事業では、「はじめよう！山登りのすすめ」シリーズを企画し、登山に必要な机上講習と登山実習をセットにして、初心者が参加しやすい事業内容を心がけました。

アウトドアスポーツ事業では、東京湾で船釣りと捌き方講習を体験する「Teens フィッシング」を実施し、キャンプ事業ではスキー講習と田舎体験を行う「スノーキャンプ」を5年振りに実施するなど、中高生世代に向けた事業の拡大を図りました。

アウトドアカレッジ事業では、「キャンプのリスクマネジメント」、「水辺の救急法」「エピペン&CPR」など、野外活動時の安全管理について学ぶ機会を提供しました。

また自然観察・学習・体験事業では、人気の高い昆虫観察をじっくり行うために1泊2日の宿泊事業として「親子野あそびクラブ～夏の高原を楽しもう」を企画し、昼、夜、朝とそれぞれの時間帯に見られる昆虫を観察しました。

3 生涯学習振興に関する事業

生涯学習振興に関する事業では、青少年事業で雨天中止になった事業がありましたが、各種事業をほぼ計画通り実施することができました。また、武蔵野プレイス有料貸出の各施設も多くの方に利用していただきました。特に青少年フロア（B2）の有料スタジオは令和5年度と比べて大幅な利用件数増となりました。吉祥寺図書館の閲覧席や「まなびとつどいのへや」も、多くの方に利用していただきました。生涯学習事業のPR媒体として、これまで以上にSNSを積極的に活用したほか、必要に応じて大型デジタルサイネージも利用しました。

- 読書の普及・推進事業

プレイス図書館及び吉祥寺図書館では、来館した市民が気軽に読書を楽しめるように、「トピックス展示」「YAトピックス」「テーマ展示」などの館内展示を実施しました。「おはなし会」「乳幼児向けおはなし会」、参加者同士の交流を狙った「あかちゃんプレイス」「あかちゃんオアシス」も計画どおり実施しました。

ティーンズ向け事業では、プレイス図書館で「シルクスクリーンでわたしの本の表紙をつくろう！」、吉祥寺図書館では「ネット・生成AI時代の調べ方＆学び方講座～探求学習で自分の未来を切り拓こう～」を実施し、青少年世代のネットリテラシーや情報の活用方法について学ぶ機会を提供しました。障がい者サービスでは、武蔵野プレイス、吉祥寺図書館とも録音室を利用していただき、武蔵野プレイスの対面朗読室については関係する団体等との調整を図り、昨年度とほぼ同程度の人数の利用がありました。

○ 講座・イベント事業

様々な世代が気軽に生涯学習に取り組める機会を提供し、各世代のニーズに応じた講座を企画することにより、「学びの機会を提供し続ける」ように努めました。

子育て世代向け講座の「子育て中のママパパ哲学カフェ」は、託児付きの実施で、講師による講義と参加者同士で対話・交流をする2部構成で満足度の高い事業となりました。

土曜学校「サクサク書けるサクブン講座」は、土曜学校の在り方有識者検討会議で挙げられた案により令和5年度から開始しましたが、令和6年度は内容を充実させ3回の連続講座として発展させた形で実施いたしました。

プレイス図書館では、引き続き「シネマプレイス」を従来どおりの定員100名で実施、吉祥寺図書館では一般向けの事業でホワイトイーグルに所属されている方を講師にむかえ「まつとうさんの“大人のための”絵本弾き語りライブ！」を実施しました。

○ プレイス総合イベント プレイス・フェスタ～楽しむ 出会う わかちあう～

プレイスの理念を具現化し、市民に広く周知し利用者に体感してもらう総合イベント「プレイス・フェスタ」では、令和5年度に引き続き、事業団のキャッチコピー「楽しむ、出会う、わかちあう」をテーマに多くの事業を実施しました。N H Kの番組にも出演しているブックディレクター幅允孝(はばよしたか)さんによる「選書ワークショップみんなでつくる本棚」を始め、地域と連携した「武蔵境アニメスタジオJ.C.S T A F Fに学ぶアニメ制作ワークショップ」、青少年向けに「缶バッジ×布バッグデザインワークショップ」、市民活動と縁をつなぐ「市活縁日」など、さまざまなプログラムを行いました。

○ 連携事業

武蔵野地域五大学との連携事業等は、五大学共同講演会を開催し、「基調講演」をはじめ、各大学の特徴が反映された魅力的な講義内容を提供しました。自由大生に与えられる称号記の授与式では、令和6年度に就任した作家の乃南アサ自由大学学長、市長、五大学学長と共に、飲食しながらの懇談会を実施いたしました。また中近東文化センターとの連携事業として夏休みに親子向け講座の実施や、聴覚障害者協会との共催で聴覚障害者と市民がともに学ぶ機会の提供を行いました。

○ 地域映像アーカイブ運営事業

調査収集された武蔵野市に関する資料を、サーチバーや郷土資料コーナーにてデジタルサイネージにより公開し、サーチバーの利用促進を行い、より多くの人の目に触れてもらう機会を提供しました。(令和6年度末所有資料は、動画215点 静止画256点)

○ 市民活動支援事業

現在、活動している個人や団体、これから活動を始めようとする人に対しての支援として、市民活動マネジメント講座では、「組織運営」「法人設立」「ファシリテーション」「広報」「会計・税務」の事業を実施しました。また、武蔵野プレイスに登録している市民活動団体の企画講座を3事業実施し、1つは興味関心の高い

新NISAをテーマに実施し、多くの方に参加いただきました。

○ 青少年活動支援事業

青少年活動フロア運営では、利用人数を戻したこと以前のような賑やかで活発な青少年たちが利用するB2フロアとなりました。

キャリア形成支援事業では、青少年の社会性や地域社会へ踏み出す意欲の育成を目的とした「プロに学ぶ！講座」シリーズを3事業実施し、青少年の居場所事業では、装飾事業をスタジオラウンジで実施しました。

青少年サポーター事業では、自分たちの想いやアイディアで居心地の良いフロアづくりをおこなうプロジェクトとして参加者を募集し、今回は利用率の低いクラフトスタジオをたくさんの青少年に知ってもらい利用促進につなげていくという事業を2回実施しました。

理解促進事業の「青少年パフォーマンス発表会」は、あいにくの天候となり初めて中止となりました。当日、参加予定だったグループの演奏をサウンドスタジオで収録し、後日館内で上映する予定としました。

4 この法人の目的の範囲内で行う武藏野市からの受託事業

従前からの武蔵野中央公園スポーツ広場の管理、第四中学校温水プールの管理運営、境南ふれあい広場公園の管理に加え、令和6年度から武蔵野市立小・中学校部活動の地域連携支援事業を受託し、部活動指導員の募集・紹介、研修等を実施しました。

5 この法人の目的の範囲内で行う市の施設の管理運営に関する事業

音楽ホール・劇場・美術館などの文化施設8施設、スポーツ施設7施設、生涯学習施設1施設、図書館1施設を指定管理者として管理運営しました（後述8武蔵野市立自然の村の管理運営に関する事業と合わせて、指定管理施設は全18施設）。

各館で指定管理者として設備の修繕、利用調整などを行いました。芸能劇場、吉祥寺シアターにおいて、舞台諸幕や照明設備等の館内設備及び屋上防水や塗装等の改修工事を行い、安全かつ快適に施設を利用していただける環境を整えました。体育施設では、温水プールのろ材、熱交換器の交換工事、及び大可動壁の補修工事を1月の休場期間を利用して行いました。その他、施設の老朽化に伴う不具合箇所に適宜対応し、利用者の安全確保に向けた環境づくりに努めました。また、令和9年度からの総合体育館大規模改修工事に向け、市の関係課と調整を行いました。武蔵野プレイスでは、昨年に引き続き館内の照明器具が一部廃番により入手困難となることで、1階と地下2階の一部の照明器具を交換しました。また、保健所の立入検査による指摘事項について主管課と情報共有しながら対策を取りました。吉祥寺図書館では、複数回の雨漏りやドアのフロアヒンジ交換でゆっくりドアの開閉が可能になるよう対策し、安全に施設運営が出来るように取り組みました。

また、文化施設のうち3施設については、令和7年度からの指定管理者の公募が行われ、当法人も応募しましたが、残念ながら指定を受けることはできませんでした。市からの要請により、必要な資料及びデータなどの引継ぎ資料を作成し、新規指

定管理者に円滑かつ適切に運営を引き継げるよう努めました。

6 旅行業法に基づく旅行業

野外活動センターにおいて、「槍ヶ鞘トレッキング」等の募集型企画旅行を28事業実施しました。また、手配旅行として自然の村利用者を853名手配しました。

7 その他当法人の目的を達成するために必要な事業

子育て中の方を対象に、施設の利用や事業への参加を促進するため、一時保育事業を実施しました。

8 武蔵野市立自然の村の管理運営に関する事業

令和6年度は、例年よりも頻繁に熊の出没が確認され、長野県からツキノワグマ出没注意報が発令されたため、7月中旬以降キャビン地区を閉鎖しました。そのため、むさしのジャンボリー、「親子キャンプ」が中止となってしまい、キャビン棟の利用数が大幅に減少しました。中央棟利用者にも熊についての最新情報を提供し、注意喚起を行なながら運営を行いました。

「自然の村利用促進バス事業」は、天体観望や中央棟での音楽会など新しいプログラムを導入し、予定していた11回すべての事業を実施しました。

9 定款第4条第1項各号に付帯する事業

各施設において、施設の利便性を高め、来館者の関心に対応すべく各事業を行いました。

カフェの運営では、吉祥寺シアターカフェにおいて、提携・協力事業の公演に合わせたコラボ・メニューを考案し、カフェと劇場が協力し、観客とカフェの売り上げの双方の増加を図りました。市民文化会館2階のカフェスペースにおいては、ケータリングやコーヒー等の飲み物や軽食の提供を行うカフェ事業を展開しました。また、武蔵野プレイスのカフェでは、昨年に引き続き英会話講座やトークイベントの実施、しおりやポストカードなどプレイスオリジナルグッズの販売で来館者の興味を引く運営をしました。

その他、吉祥寺美術館でのミュージアムショップの運営、各館での飲料水等の提供等の収益事業、アルテ友の会会員への情報提供等の公益目的事業を実施しました。

10 その他

中期計画（令和6年（2024）年3月策定）は、進行管理会議において、3か月毎に進捗管理を行いました。

令和7年（2025）年度以降の武蔵野芸能劇場ほか2施設の指定管理者公募に対して応募ましたが、選考の結果、指定管理者に選定されませんでした。それを受け、中期計画の一部改定、事業団職員の人材確保・育成方針の策定など、事業団の将来を見据えた検討を行い、令和7年度からの新たな指定管理期間を迎える準備をいたしました。また、武蔵野市及び次期事業者と業務の引継ぎ等の協議を行いました。

武藏野市土地開発公社

第1 概要

1 目的

武藏野市土地開発公社（以下「公社」という。）は、公共用地、公用地等の取得、管理、処分等を行うことにより、地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与することを目的とする。

（公社定款第3条による）

2 事業

- (1) 公有地の拡大の推進に関する法律第17条第1項各号に掲げる業務（同項第1号ニに掲げる業務を除く。）
- (2) 国、地方公共団体その他公共的団体の委託に基づき、土地の取得のあっせん、調査、測量その他これらに類する業務

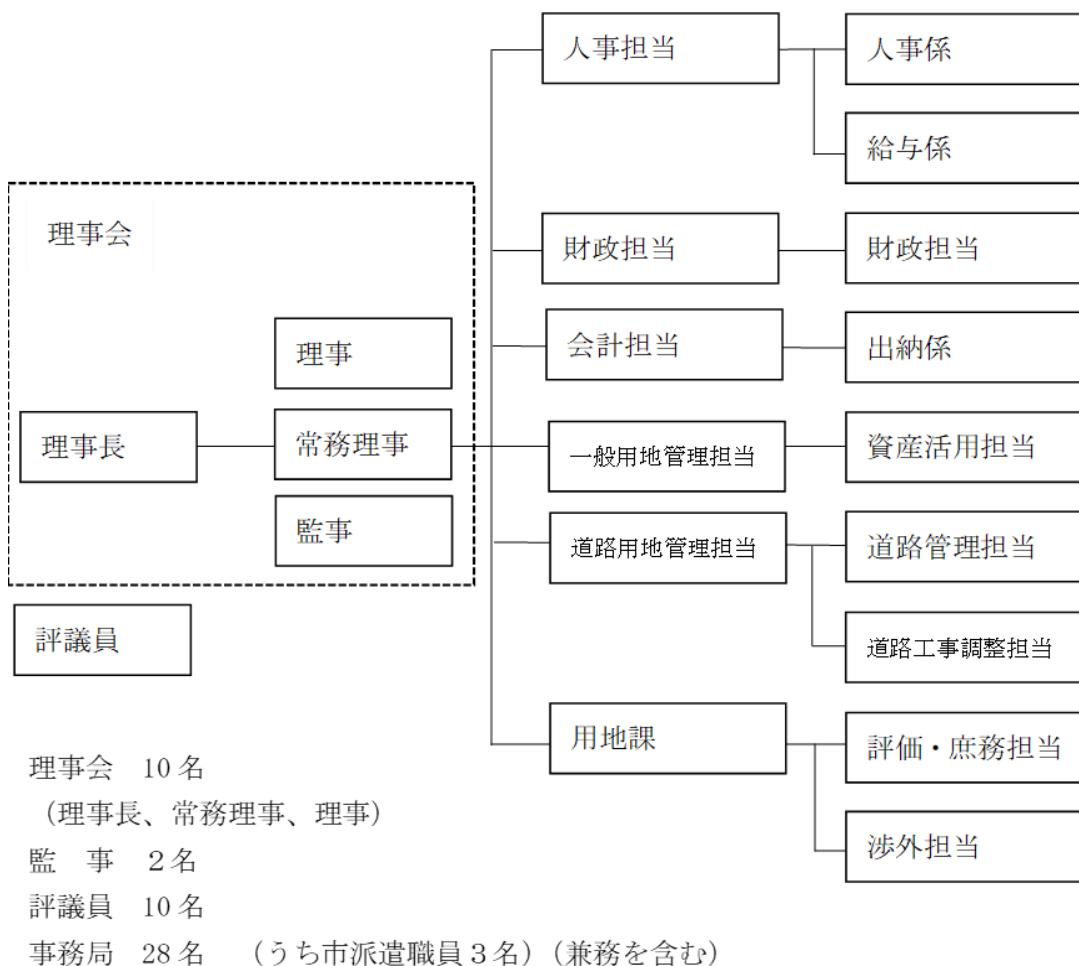
（公社定款第23条による）

3 設立

昭和49年5月1日 設立

4 組織

役員及び組織の状況は、次のとおりである（令和7年3月31日現在）。



第2 事業の状況

1 経営状況

令和6年度の財務の状況は、別表1から別表3までのとおりである。

(1) 収支決算状況

事業収益は9億472万4千円で、主な収入は公有地取得事業収益8億3,930万7千円で、事業収益に占める割合は92.8%である。

収益のうち、市からの受取補助金は3,063万8千円で、事業収益に占める割合は3.4%である。

事業原価は9億6,421万9千円で、主な支出は公有地取得事業原価9億5,632万3千円で、事業原価に占める割合は99.2%である。

販売費及び一般管理費は1,344万4千円で、事業総損失から販売費及び一般管理費を差し引いた結果、7,293万9千円の事業損失が生じた。

事業外収益は49万8千円で主な収入は雑収益である。

この結果、経常損失、当期純損失とも7,244万1千円となった。

(2) 財政状況

ア 資産

当年度末における資産の合計は、77億5,438万1千円で、内訳は、流動資産が77億4,793万8千円、固定資産が644万3千円である。

流動資産は、当年度で4億8,792万8千円、前年度比5.9%減少しているが、これは公有用地が減少したことが主な要因である。

固定資産は、当年度で67万3千円、前年度比9.5%減少しているが、これは有形固定資産及び無形固定資産が減価償却により減少したことが主な要因である。

イ 負債

当年度末における負債の合計は、69億6,434万6千円で、内訳は、流動負債が1,404万9千円、固定負債が69億5,029万7千円である。

流動負債は、当年度で3,921万1千円、前年度比73.6%減少しているが、これは未払金が減少したことが主な要因である。

固定負債は、当年度で3億7,695万円、前年度比5.1%減少しているが、これは長期借入金が減少したことが主な要因である。

ウ 資本

当年度末における資本の合計は、7億9,003万5千円で、内訳は資本金が500万円、準備金が7億8,503万5千円である。

資本金は前年度と同額であったが、準備金は当期純損失により当年度で7,244万1千円、前年度比8.4%減少している。

2 実施事業

令和6年度の主要事業の概要及び実績は、別紙のとおりである。

事業の状況について、関係書類等を審査した結果、適正に処理されているものと認められた。

第3 補助金

令和6年度に市が公社に交付した補助金の合計は、30,638,490円で、その内訳は次頁のとおりである。

所管課	補助金名	目的	根拠	交付額
用地課	武蔵野市土地開発公社運営費補助金	市の事業用地の取得及び武蔵野市土地開発公社の運営に要する経費の一部を補助することにより、公有地の拡大の計画的な推進を図り、もって地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進に資するため。	武蔵野市土地開発公社運営費補助金交付要綱	30,638,490円
	計			30,638,490円

補助金について、関係書類等を審査した結果、適正に処理されているものと認められた。

第4 管理運営

1 定款及び諸規程の整備

公社では定款のほか、業務方法書、評議員会規程、処務規程、公印規程、非常勤職員の報酬等に関する規程等を設け、事務処理等を行っている。

2 会計経理

会計処理にあたっては、定款、会計事務規程等に基づき行われている。

3 出えん金及び基本財産の管理

(1) 出えん金及び基本財産

令和6年度末の基本財産は500万円で、公社設立の際に市が全額出えんしたものである。

(2) 基本財産の保管及び運用益

基本財産は定期預金として預金されており、令和6年度における利息収入は150円であった。預金先及び内訳は次のとおりである。

金融機関	種類	金額	利息収入
三菱UFJ銀行	定期預金	5,000,000円	150円
計		5,000,000円	150円

4 出資金

公社では出資金として5万円を投資しており、令和6年度における配当金は1,000円であった。出資先及び内訳は次のとおりである。

金融機関	種類	金額	配当金
大東京信用組合	出資金	50,000円	1,000円
計		50,000円	1,000円

5 個人情報の保護及び管理体制

公社では、個人データ取扱規程を定めている。用地課で行っている情報セキュリティ研修に合わせて、公社職員にも研修を行っている。

管理運営について、関係書類等を審査した結果、下記の事項を除き、おおむね適正に処理されているものと認められた。

記

[公社 指摘事項]

- ① 休暇簿において、休暇日が決裁日より前の日付になっているものが見受けられた。また、記載が誤っているものがあった。
- ② 在宅勤務報告書において、記載が誤っているものが見受けられた。
- ③ 切手使用報告書において、記載が誤っているものが多数見受けられた。
- ④ 契約書（単価契約）において、収入印紙の消印がないものがあった。

処務規程等に基づき、適正に処理されたい。

[公社 監査意見]

- ① 特定個人情報の取扱いについて

特定個人情報の管理については、市に準じて保有管理簿等を作成するなど、より適切な取扱いとなるよう規程等を整備されたい。

貸 借 対 照 表
(令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位 : 円)

I 資 産 の 部

1 流動資産

(1) 現金及び預金	239, 769, 102
(2) 公有用地	7, 315, 678, 854
(3) 代替地	192, 490, 172
流動資産合計	7, 747, 938, 128

2 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 構築物	1, 317, 693
減価償却累計額	\triangle 814, 918
	502, 775
イ 工具、器具及び備品	1, 969, 445
減価償却累計額	\triangle 1, 437, 585
	531, 860
有形固定資産合計	1, 034, 635

(2) 無形固定資産

ア ソフトウェア	358, 417
無形固定資産合計	<u>358, 417</u>

(3) 投資その他の資産

ア 出資金	50, 000
イ 長期性預金	<u>5, 000, 000</u>
投資その他の資産合計	<u>5, 050, 000</u>
固定資産合計	6, 443, 052
資 产 合 計	<u><u>7, 754, 381, 180</u></u>

(単位：円)

II 負 債 の 部

1 流動負債

(1) 未払金	11,109,509
(2) 前受金	2,898,168
(3) 預り金	41,252
流動負債合計	14,048,929

2 固定負債

(1) 長期借入金	6,950,297,000
固定負債合計	6,950,297,000
負債合計	6,964,345,929

III 資 本 の 部

1 資本金

(1) 基本財産	5,000,000
資本金合計	5,000,000

2 準備金

(1) 前期繰越準備金	857,475,781
(2) 当期純損失	72,440,530
準備金合計	785,035,251
資本合計	790,035,251
負債資本合計	7,754,381,180

損 益 計 算 書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

1 事業収益

(1) 公有地取得事業収益	839,307,449
(2) 附帯等事業収益	34,778,016
(3) 補助金等収益	30,638,490
	<u>904,723,955</u>

2 事業原価

(1) 公有地取得事業原価	956,323,158
(2) 附帯等事業原価	<u>7,895,700</u>
事業総損失	<u>964,218,858</u>
	<u>59,494,903</u>

3 販売費及び一般管理費

(1) 販売費及び一般管理費	<u>13,444,078</u>
事業損失	<u>72,938,981</u>

4 事業外収益

(1) 受取利息	174,356
(2) 受取配当金	1,000
(3) 雑収益	<u>323,095</u>
経常損失	<u>498,451</u>
当期純損失	<u>72,440,530</u>
	<u>72,440,530</u>

別表3

財 产 目 錄
(令和7年3月31日現在)

(資産の部)

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額
1 流動資産		7,747,938,128
(1) 現金及び預金		239,769,102
	普通預金	239,769,102
	三菱UFJ銀行	239,769,102
(2) 公有用地		7,508,169,026
	公有用地	7,315,678,854
	代替地	192,490,172
2 固定資産		6,443,052
(1) 有形固定資産		1,034,635
	構築物	1,317,693
	構築物減価償却累計額	△ 814,918
	工具、器具及び備品	1,969,445
	工具、器具及び備品減価償却累計額	△ 1,437,585
(2) 無形固定資産		358,417
	その他の無形固定資産	935,000
	その他の無形固定資産減価償却累計額	△ 576,583
(3) 投資その他の資産		5,050,000
	出資金	50,000
	長期性預金	5,000,000
資 産 の 部 合 計		7,754,381,180

(負債の部)

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額
1 流動負債		14,048,929
(1) 未払金		11,109,509
	事業未払金	9,975,722
	公有地	7,954,000
	補助金	2,021,722
	その他の未払金	1,133,787
	人件費	71,400
	経費	1,062,387
(2) 前受金		2,898,168
	前受金	2,898,168
(3) 預り金		41,252
	預り金	41,252
	源泉所得税	41,252
2 固定負債		6,950,297,000
(1) 長期借入金		6,950,297,000
	長期借入金	6,950,297,000
	三菱UFJ銀行	1,875,507,000
	多摩信用金庫	1,172,833,000
	山梨中央銀行	3,470,685,000
	三井住友銀行	194,932,000
	大東京信用組合	236,340,000
負債の部合計		6,964,345,929
差引純資産		790,035,251

別紙

主要事業の概要及び実績

公社の令和6年度の事業計画及びその執行状況、用地取得及び売却等並びに土地の有効利用については、以下のとおりです。

(1) 事業計画及びその執行状況

当年度の事業計画における用地取得の当初予算額は、29億1,300万円でしたが、道路用地及び公共用地を合計約3億7,543万円取得しました。また、用地処分の当初予算額は、2億3,075万円でしたが、公共用地及び代替地を合計約8億3,774万円で処分しました。長期借入金の新規借入額は、4億6,090万円でした。

(2) 用地の取得

道路用地については、市道第263号線ほかを合わせて41.66m²を約4,584万円(物件移転追加補償費含む)で取得しました。

公共用地については、168.57m²を約3億2,959万円で取得しました。

(3) 用地の処分

保有土地の売却状況は、公共用地(都市計画道路予定地含む)1,296.51m²を総額約7億5,242万円で市へ売却しました。

また、代替地121.85m²を約8,532万円で売却しました。

(4) 用地の交換

代替地のうち、2.41m²を隣接者と等価交換しました。

(5) 土地の有効利用

公社の健全な運営を図るため、取得した土地の一部について、民間への貸付を行っています。これによって、本年度は、約3,478万円の収入を得ています。

○ 用地の取得

道路用地	3 件	41.66 m ²	45,837,703 円
公共用地	1 件	168.57 m ²	329,588,064 円
計	4 件	210.23 m ²	375,425,767 円

○ 用地の処分

公共用地	2 件	1,296.51 m ²	752,423,707 円
代替地	1 件	121.85 m ²	85,315,073 円
計	3 件	1,418.36 m ²	837,738,780 円

